
4062. フリータイム情報照会

業務コード	業務名
I F R	フリータイム情報照会

1. 業務概要

「フリータイム情報登録（FTR）」業務で登録されたフリータイム情報を保税地域、船舶及び航海番号単位またはコンテナ番号単位で照会する。

2. 入力者

税関、通関業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

コンテナ番号単位の照会の場合、1業務で入力可能なコンテナ番号は最大20件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) フリータイム情報DBチェック

保税地域、船舶及び航海番号単位の照会の場合、入力された保税地域コード+船舶コード+航海番号に対するフリータイム情報DBが存在すること。

(4) コンテナ情報DBチェック

コンテナ番号単位の照会の場合、以下のチェックを行う。

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること。
- ②輸入コンテナであること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) フリータイム照会情報編集出力処理

フリータイム情報DBよりフリータイム照会情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) コンテナフリータイム照会情報編集出力処理

コンテナ情報DBよりコンテナフリータイム照会情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
フリータイム照会情報	以下のいずれかの条件を満たすとき、出力する (1) 保税地域コード+船舶コード+航海番号が入力された (2) エラーとなった	入力者
コンテナフリータイム照会情報	コンテナ番号が入力された場合	入力者

7. 特記事項

入力項目については、保税地域コード+船舶コード+航海番号またはコンテナ番号のいずれかを入力する。

保税地域コード+船舶コード+航海番号が入力された場合は、基本フリータイム情報やイレギュラーフリータイム情報（FTR業務で識別「S」で登録された内容）を出力し、コンテナ番号が入力された場合は、コンテナ番号単位のフリータイム（FTR業務で識別「C」で登録された内容）及び関連したコンテナ内容を出力する。

なお、FTR業務で識別「B」で登録された場合は、「貨物情報照会（ICG）」業務で照会可能である。